

きらめき市民活動

綾瀬を元気に



フタッコリ〜



綾瀬で楽しく

あやびい

発行：市民活動センターあやせ 制作：コミュニティサポートあやせ

気軽に集える地域の居場所づくり — 市民がつくる綾瀬の身近なコミュニティ —

少子高齢化が進む中、求められる生活環境は大きく変化しています。どうすれば、地域で楽しく元気に過ごせるのか。今号では、これからより必要とされるであろう場を提供している団体を紹介します。

歩いて行ける憩いの場を

花いちもんめ

綾西バザール内にあるランチ&喫茶「花いちもんめ」は、健康に配慮した塩分控えめの日替わりランチ(500~550円)を提供しています。添加物の使用を極力抑え、カロリー摂取量を考慮したメニューは、お弁当として持ち帰りも可能です(配達も可能ですが要相談)。2012年のオープン以来、口コミで評判が広がり、現在では年間延べ3,000人が利用しています。「糖尿病を抱えているあるお客さんは、ここでランチを毎日のように食べ始めたところ、血糖値が下がりお医者さんに褒められたと喜んでいました。うれしい反応です」と、花いちもんめの野村耕司会長は話します。

このお店は、綾西地区に在住するボランティアによって運営され、高齢者の食生活の手助けやサロン活動による地域交流の活性化を目的にしています。



▲コンサートの様子

そのため、ランチの提供に加え、毎月映画会と歌ごえ喫茶を行い、年6回コンサート等のイベントも開催しています。

「とくに好評なのが歌ごえ喫茶で、声を出したい、おしゃべりをしたいという要望が多い」と野村さん、花いちもんめは食事をする場としてだけでなく、居合わせた人と会話や趣味を楽しむ場にもなっています。



▲綾西バザール内にある花いちもんめ



健康に配慮したランチ▶

綾西地区は住民の42%が65歳以上となり、自動車を持たない世帯も増えています。野村さんは「歩いて行けて楽しめる。気軽におしゃべりができ、健康的な食事が摂れる場所がもっと増えてほしい。そのひとつのキッカケになればいいですね」と話します。



▲誕生日会に場を提供したときの様子

現在活動するボランティアは平均年齢が70歳を超えているそうですが、店内を動き回る元気な姿はとても印象的でした。

綾西バザール商店会の夏祭りに参加している様子▶



親子ともに成長できる学びの場に

松ヶ丘ナーサリーまつぼっくり

寺尾中にある松ヶ丘ナーサリーまつぼっくり（以下まつぼっくり）は、まだ綾瀬町だった1967年に設立した松ヶ丘幼稚園跡地をそのまま利用し、子どもの心の成長を支援する場です。まつがおか文庫（絵本童話の読み聞かせ、昔話の語り）、幼児教室、こどもネットまつがおか（親同士の対話）などを実施しています。また年間行事として、乗馬体験やブックフェア、バザー、人形劇講演など幼稚園だった敷地を活かしたイベントも行っています。



▲子どもにまつぼっくりにある本を貸し出している様子



▲絵本童話の読み聞かせをしている様子



▲週1回行っている幼児教室の様子

ひょっこりひょうたん島でお馴染みの
▼ひとみ座による人形劇の様子



◀年2回実施している、
馬とふれあう
「馬ーケット」の様子。
次回は5月31日

代表を務めるのは、幼稚園を開園した折原祥子さん。「幼稚園を閉鎖するとなったとき、当時子どもを通わせていた親や卒園生から、ぜひこの場を残してほしいという声がありました。そこで、みなさんに協力してもらいながら、できることを続けていくことにしました」と、まつぼっくり発足の経緯を説明します。2007年に現在の団体を立ち上げ活動を続けています。

団体名にあるナーサリーには、5歳以下の子どもの教育という意味とともに、苗床という意味があります。まつぼっくりでは、人を苗に例えると、それを育てる苗床が大切と考え、とくに3歳以前の子育て支援に力を入れています。子どもの成長に関わって50年目を迎える折原さんは「生活環境はどんどん変わっていきませんが、子どもにとって大事なことはずっと変わりません。今の時代は、それを大人も一緒になって学び考えることが必要だと感じています。親子で学べ、ともに成長する。そんな場を提供していきたい」と語ってくれました。親子二代で利用する人も多く、戻ってきたくなる懐かしい場所として、地域に根付いています。

花いちもんめでは、より地域の交流を図るため、まつぼっくりでは、より子どもたちのクリエイティブな心を育てるため、それぞれ場の活用を模索しています。福祉会館の改築工事、市民活動に協力的だったダイエー綾瀬店の閉店により、活動の場を探している団体もあるかと思います。新たな取り組みを始めたい、今あるアイデアを形にしたい、そんな方にはぜひ足を運んでいただきたい場所です。各団体については、下記までお問い合わせください（掲載順）。

※花いちもんめ

住 所：綾西 4-19-4（綾西バザール内）

連絡先：0467-76-8988

営業時間：10:00～16:00（日曜、祝日は休み）

※松ヶ丘ナーサリーまつぼっくり

住 所：寺尾中 3-5-1

連絡先：0467-78-2846

綾瀬の

いいとこ再発見



第4回 城山公園のゲンジボタル

城山公園の敷地内にある、かつてワサビ田だった水辺では、元気に飛び交うホタルを見ることが出来ます。豊かな綾瀬の自然を象徴する光景の1つです。その見ごろは6月。その時期を間近に控えた今回は、ホタルについて、綾瀬城山ぼたる保存会(以下保存会)の吉田誠会長に聞きました。



ゲンジボタルの成虫。大きさは2cmほど。1週間ほどでその一生を終える

みなさんは、ホタルが世界で何種類いるかご存じでしょうか。およそ2,000種類が生息し、日本では45種類ほどを見ることが出来ます。ホタルというと、水辺に飛び交う姿を想像する方が多いと思いますが、水辺に生息するのはわずか数種類で、日本にしか見られません。その一種、ゲンジボタルが城山公園に生息しています。全国的に多く見られるのが田んぼ沿いにある用水路で、比較的人の生活圏に近い場所ですが、吉田さんは「住宅の多い地域でこのような環境が残っていることは稀です」と言います。

ゲンジボタルの生息に必要な条件として、①水がきれいなこと、②水に適度な流れがあること、③幼虫時の唯一の食糧であるカワニナ(巻貝)がいること、この3つが挙げられます。座間丘陵の湧水からなるこの水辺には、絶滅危惧種に



ゲンジボタルが成虫になって飛び交っている様子

指定されているホトケドジョウをはじめ、ヘビトンボやサワガニなど、貴重な生物も数多く存在しています。2003年に発足した保存会では、この環境を維持するため、周辺の竹の間引きや、水辺に流れ込んだ土の除去、落ち葉拾い、草むしり、水の流れの調節などを定期的に行っています。

ホタルが飛び交うのは夜8時前後で、6月の各週末には保存会の会員が水辺周辺にホタルガイドとして立つほか、中旬にはホタル観賞会が行われます。「ホタルは光によって会話しています。その会話をぜひ楽しんでほしい。そして、この環境を次世代に残せるよう、みなさんにもぜひ協力してほしい」と吉田さん。身近な自然の豊かさを、ホタルの会話を通して感じてみてはいかがでしょうか。

保存会がホタルについてガイドしている様子



※綾瀬城山ぼたる保存会の活動や開催する各種イベントについては、090-1838-1203(三枝、17:00以降対応)までお問い合わせください。

市民活動センター あやせよりお知らせ



■第12回かながわイーパーツ リユース PC 寄贈プログラムについて

公益的な市民活動団体にパソコンを寄贈する、かながわイーパーツリユース PC 寄贈事業の第12回プログラムが行われます。予定されている日程は以下のとおり。今回は綾瀬の団体に2台寄贈されました。詳細については、わかり次第、当センターにて告知します。

募集期間：6月3日（水）～7月3日（金）

寄贈式：8月23日（日）

■団体登録の更新手続き完了

みなさまのご協力により、当センターの団体登録更新手続きは予定通り完了しました。4月1日より、更新いただいた内容で情報を公開しています。内容の変更等が生じた場合には、随時ご連絡ください。

■「春のチャレンジボランティア体験」に 21名が参加

去る3月7日～4月5日、10団体が受け入れたボランティア体験では、高校生21名の参加がありました。「こういう活動があることを知らなかった」という声が多く、市民活動を知るよい機会になったようです。本年度も夏のチャレンジボランティア体験を予定しています。詳細が決まり次第、各登録団体へお知らせします。ボランティア受け入れをご検討ください。

■市民活動交流会 「心技体の団体交流会」の報告

去る3月27日、中央公民館3階で開催した交流会には、34団体92名の参加がありました。団体PR やジャンケン大会、綾瀬マンドリンクラブによる演奏を行い、楽しく交流してもらえよう努め、活気ある時間となりました。参加者からは「知る大切さを痛感した」「貴重な意見をもらえた」「つながりを持てた」といった感想があり、活動のヒントを得られる機会にもなったようです。

■パソコン&ポスタープリンター講習会

本年度より、毎月最終土曜日に、パソコンの基礎的な操作や当センターにあるポスタープリンターの利用方法の講習会を開催します。

**日 時：5月30日、6月27日、7月25日
（いずれも13:00～15:00）**

**対 象：登録団体の所属、
もしくは公益活動をしている方**

参加費：100円

定 員：5名（要予約）

場 所：市民活動センターあやせ

※パソコン講習、ポスタープリンター講習を同日開催します。両講習合わせて5名の定員となっており、両方への参加はできません。毎月2日（2日が休館日の場合は3日）より予約を受け付けます。



■編集後記

本紙は、昨年度同様、3か月おきに年4回発行いたします。元気に楽しく活動する団体を紹介することで、綾瀬の魅力を多くの市民の方に伝えていきたいと思えます。本年度もよろしく願います。（長谷川智憲）

市民活動センターあやせ

〒252-1103 綾瀬市深谷 3838 中央公民館内

TEL&FAX：0467-70-1232

Eメール：ayasenposc@gmail.com

開館時間：9:00～22:00

休館日：火曜日、毎月第3水曜日、年末年始

登録団体数：124団体（2015年5月現在）

※ホームページもあります。

「市民活動センターあやせ」で検索してください。

